

投資INSIDE-OUT

<投資の裏側>

(INSIDE-OUT=インサイドアウト、隅から隅まで)

麦わら帽は冬に買え

～相場の格言に学ぶ資産運用①～

「投資INSIDE-OUT～相場の格言に学ぶ資産運用～」では、国内外の市場関係者の間に古くから伝わる「相場の格言」から、資産運用にまつわる示唆を得ていきます。

◆「相場の格言」に学ぶ意義

日本では、古来、米や株の取引で財を成し名を残した相場師が、相場に取り組むうえでの心得や取引手法を記して世に伝え、後世の市場関係者は、こうした「相場の格言」を相場から利益を得ようとする際の教訓や戒めとしてきました。また、欧米の市場関係者や投資家の間でも、著名な投資家・ディーラー等による投資ノウハウや投資姿勢についての逸話や提言が共有され、資産運用の指針として活用されているようです。

実際、内外の市場関係者や投資家の間では、意外に多くの「相場の格言」が知られています。例えば株式相場等では、大衆に流されることなく独自の発想で行動することの重要性を訴える格言として、「人の行く裏に道あり花の山」が有名ですが、このような「自主自立」を説く格言は下図にある事例のほかにも数え切れないほど残されており、その背景には、相場との対峙は容易ではなく、だからこそ多くの格言が単なる興味本位を越えて珍重され伝えられてきたことがあると考えられます。

「麦わら帽は冬に買え」

ウォール街の格言。季節性のあるものはオフシーズンに買え、転じて他人と違うことをする勇気を持つ。

他にも・・・

「類寄りて集まる意見は時遅し、その裏道を深く考え」
衆目が一致して強気になっているときは、少数派意見をよく研究し、相場の逆行に備えよ。

「野も山も皆一面に弱気なら、阿呆になりて米を買うべし」
相場が暴落し群集が総悲観になっている時が、往々にして絶好の買い場。独り勇気を持って買い向かえ。



宮本武蔵の「独行道※」に登場する一句、「我れ事において後悔せず」も相場の格言の一つとされることがあり、相場においても自己責任の認識をもとに行動すれば、たとえ目的を果たせなくても後悔は少ないと教えています。

資産運用は、相場師が相場と対峙することと同様に大きなチャレンジと言えます。「相場の格言に学ぶ資産運用」では、こうした相場の格言を知ること、望ましい投資行動や資産運用のあり方を探っていきます。

※宮本武蔵が自身の姿勢や価値観を21カ条に記し遺した。

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。